



同窓会

若紫

題字 校長 石原 弘嗣

第22号 令和8年2月
湘南学院同窓会「若紫会」発行
〒239-0835
横須賀市佐原2-2-20
tel046(833)3433
fax046(833)1177

同窓生 リレー紹介



共学5期生
土居泰斗 さん

本校が湘南学院と改称されてから5回目の入学生、5期生の土居です。在学中に声優の養成所へ通い始めて芝居の世界を知り、卒業後は明星大学造形芸術学科で美術と演劇の世界に没頭しました。社会人となってからも芝居の楽しさは褪せず、接客業をしながら舞台演劇やヒーローショーに参加しました。現在は縁あって、夢だと思っていた声優の仕事をしています。何かを始めるのに早い遅い、できるできないは関係ありません。皆さんが今やっていることもいつか実を結び、花開きます。まさに継続は力なりです。3年後、5年後、10年後の自分をぜひ想像してみてください。自分はどうなりたいか、ロードマップを作ってみましょう。周りに言って笑われる夢でも、字に書いたそれは目標に変わります。もしも夢がなかったら、好きを増やしてください。好きなもので自分を埋め尽くしましょう。その先に見えるのは、あなたの求める未来かもしれません。

同窓会「若紫会」

若紫会の活動等に関するお知らせが自動で届く
便利な公式LINEを作成いたしました(^^)
是非友人追加をよろしくお願ひします!



公式LINE追加QRはこちら



第7代若紫会会長
白居秀文
共学1期生

きやすい環境づくりを進めるとともに、同窓会の活動を広くお伝えできるよう発信力の強化にも取り組んでまいります。これからも同窓生の皆様とのつながりを大切に、より良い同窓会運営に励んでまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご意見やご要望などございましたら、どうぞお気軽にお寄せください。

同窓生の皆様には、日頃より同窓会活動に温かいご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。今後につきましては、次世代への円滑な引き継ぎを視野に入れ、昨年引き続き、LINEを活用した業務の効率化や情報共有体制の充実に努めてまいります。併せて、皆様によりご参加いただき

編集後記

『若紫』22号をお届けします。今年度は新役員に替わり最初の総会、清湘祭を終えられましたことお祝い申し上げます。LINEアカウントもでき、より同窓会が在校生や卒業生の身近な存在になることを期待しております。この会報は、旧役員から手伝いという形で制作を続けており、今回届けることができている。今後は紙の会報を続けていくことは難しくなりますが、学校HPなど別の形でお届けできればと思います。令和7年度の現在、湘南学院は創立93周年です。また7年後に創立100周年を迎える際、同窓会からも記念誌の制作をしたいと考えております。ご意見ご要望がございましたら、お知らせくださると幸いです。

『次号予告：泉水孝子さん』

卒業生であり、本校なぎなた部コーチを務めた泉水さん。令和6年に『秋の叙勲 旭日双光章』を受章、警察官、県スポーツ協会副会長等経歴をお持ちの、泉水孝子さんの記事を予定しております。

●記事内イラスト制作

(H12年卒業 すずき うらら)

●会報制作

(H5年卒業 福本花江・H5年卒業 山田かおり)

若紫会名前の由来

名付けたのは学院創立者『白戸光久先生』です。

先生は海軍大学に入学、国・漢の免状を授与され、教員として、茨城及び東京で教鞭をとり、横須賀に居住されました。当時女子教育を行う学校がなく、『軍港裁縫女学院』を創立。ここでは裁縫のみではなく、礼儀、躰、学問が学べました。

卒業生の会は、白戸先生自身が、源氏物語の中より『若紫』と命名。共学に伴い、同窓会として会の名称を再検討しましたが、『若紫』は男女ともに共通するのではないかと！との見解に達し、名称変更は見送り、現在に至っています。

若紫会顧問 元英語科教諭

(S33年卒業 清水明子)

記事内、紫色は若紫会関連、水色は学校関連の内容です。

同窓会をする時は若紫会まで連絡を

援助するよ!



お知らせ
同窓会を開催する場合は若紫会公式LINEまでご連絡を！
2026年度総会・催し物等につきましては、後日学校HP卒業欄と若紫会公式LINEをご覧ください。
連絡先はHPにてご確認ください。



湘南学院 HP QRコード
<https://shonangakuin.ed.jp/>

『卒業生の方』から若紫会のページへどうぞ。各項目をご覧ください。規定がございますが通信補助を行っています。公式LINEからご連絡ください。



学校公式 LINE スタンプ



創立90周年のお祝いに合わせて卒業生に依頼しLINEスタンプを制作しました。 QRコードから購入できます!

女子サッカー部

部活動実績と卒業生顧問お二人の高校時代



女子サッカー部顧問
木村みき 教諭
平成10年卒業



女子サッカー部顧問
八下田瞳 教諭
平成20年卒業 共学6期生



本校女子サッカー部は1987年の創部以来、女子校時代から受け継がれてきた歴史と伝統を大切にしながら活動しています。スローガン『可能性ある限り・・・』には、どんな状況でも諦めず粘り強く戦う、湘南サッカーの精神が込められ、技術向上だけでなく、応援されるチームとして自覚と責任を持つことを指導の中心に据えています。こうした姿勢は、1999年全日本高等学校女子サッカー選手権大会優勝、2000年・2001年準優勝、2006年3位、さらに2012年に女子サッカーがインターハイ正式種目となった2年後の2014年に3位入賞という成果へとつながっています。

到着した頃にはウォーミングアップが終わっているほどで、練習前から疲れていた記憶があります(笑)。一方で、初心者の仲間が努力を積み重ね、めちやくちリフティングができるようになった瞬間に立ち会えた喜びや、3年生の最後に念願の全国大会へ出場できた達成感は大きな財産となりました。

八下田：私も全国制覇を目標に3年間打ち込みましたが、目標を達成できなかった悔しさは今も心に残っています。大差で勝利する試合であっても内容に納得いくことはあまりなかったですが、県優勝や関東大会3連覇、全国大会でのベスト16・3位・ベスト8は誇りに思います。個人的にも全国大会で常連校から得点を奪った場面や、自身のオウンゴールで敗れた苦しい思い出も今では大切な経験です。同じ目標を持つ仲間との時間は特別で、卒業後も集まって語り合える関係は宝物です。

これらの経験は、現在指導にあたる私たちの原点であり、部員たちに伝え続けたい大切な財産です。卒業後に『女サカでの経験は今につながっている』と思ってもらえることが、私たちの喜びであり指導を続ける原動力となっています。

進路

個人の力が求められる新しい時代へ



進路指導係リーダー
塩崎真理子
平成10年卒業

願の初詣に行った際も、列に並びながら単語帳をめくっていたことを覚えています。残り10%の一般選抜の生徒たちも、自分を信じて最後まで諦めずに頑張っていたと思います。

昨今の湘南学院の進路状況をお伝えします。2025年3月に卒業した生徒たちの61%が大学へ、3%が短大へ、24%が専門学校へ進学し、4%が就職をしていきました。特に大学進学者の90%が年内入試と呼ばれる総合型選抜、学校推薦型選抜で合格を決めました。年内入試の割合は全国的に増加傾向にあり、今後も加速していくとされています。

本校では以前から年内入試で受験した生徒に『受験レポート』という報告書を提出してもらっています。そこには、志望理由や面接会場のレイアウト、質問内容など、後輩たちに有益な情報が書かれています。この生徒の報告書の蓄積が、進路指導において貴重な財産となっています。そのような中で、近年話題となっているのがAIの普及です。企業や私たちが触れた経験があるようです。この影響で、年内入試も変化が起きています。例えば、『志望理由書』などを出願時に提出しますが、それもAIで作成できてしまいます。もちろん、大学側もそれを承知していて、文章の上手さよりも、稚拙でもその自身が評価されます。『志望理由書』がそのような状況ですから、ますます『面接』に対する評価が重くなっています。AIで上手に文章が書けたとしても、面接時に自分の言葉で表現できなければ評価されません。生徒自身の経験や考えたことなどが深掘りされますので、それ相応の行動や考察が求められます。AIの普及により、生徒一人ひとりの行動力が必要な時代になってきたのです。

私自身は一般選抜での大学受験でした。クラスの皆が年内入試で進路が決定していく中で、だいぶ肩身の狭い思いをしました。友人と合格祈願の初詣に行った際も、列に並びながら単語帳をめくっていたことを覚えています。残り10%の一般選抜の生徒たちも、自分を信じて最後まで諦めずに頑張っていたと思います。

令和7年 総会



6月15日湘南学院高等学校1階大会議室にて、同窓会『若紫会』定期総会を開催いたしました。当日は悪天候でしたが、多くの同窓生の皆様に

ご参加いただきました。

初めに、欠員による役員の配置替えと令和6年度の事業報告、会計および会計監査の報告を行い、次いで若紫会を運営する役員らの継続の是非、最後に、令和7年度の事業計画案と予算案について審議を行い、これらすべてをご参加くださった皆様方より承認をいただきました。今後とも皆様に喜んでいただける活動に取り組み続けていきたいと思っております。

最後に、今後も同窓会『若紫会』の情報タイムリーをお届けするために、公式LINEをこの度作成いたしました。



この会誌を読んでくださっている皆様もぜひこの機会にご登録ください。
(共学21期生 小野有灯)

第77回 清湘祭



昨年に引き続き清湘祭にて、若紫会公式LINE参加者促進のためのイベントを開催しました。LINE登録用QRコード付きチラシを作成し、受付から若紫会のブースへの動線をつくりました。LINE参加特典として今年はガチャポンを企画し、皆さんが喜んでくれる景品は何か、役員でアイデアを出し合いました。

景品はリファのギフトセット、高級緑茶、トートバッグ、LEDランプ、ヨーグルトメーカーなどを選定。当選者にはチエキを撮り、記念にお渡ししました。想定以上にブースにお越し頂いたため景品がなくなり、泣く泣くガチャポンを中止せざるを得ない事態もありました。来年度はより多くの方に満足頂けるイベントにしながら、若紫会公式LINE登録を促進することが課題です。

私自身の話で恐縮ですが、息子が私の母校でもある湘南学院に入学し、PTA役員として参加させて頂いたことで、改めて若紫会のことを認知しました。私のように若紫会の存在を再認知できる人がより増やせるように、保護者の皆さまや在校生、卒業生に向けて今後も活動していきたいです。

卒業後、同窓会を開催した際に補助金が申請可能であること、そのために在学中に会費を頂いていること、その他様々な若紫会の活動があることを知って頂ける活きた運営を継続したいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。
(S22年卒業 赤崎智子)



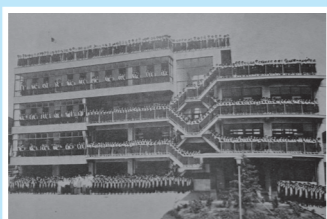
現校舎内制服展示のコーナーにて紺色制服、夏服も見られる



昭和27年～平成元年 紺色ブレザー制服

出典：五十年の歩み、個人提供

制服の歴史紹介



旧校舎
第一期鉄筋4階
完成(昭和31年)



合唱コンクール
(昭和50年頃)



修学旅行(昭和50年頃)
熊本城にて



卒業式
(昭和63年3月)